



Title	中国河南省における新農村建設による再編直前の農村居住の実態：「尚庄新村」へ再編される既存農村を事例として
Author(s)	王，穎楠；野村，理恵；森，傑
Citation	学術講演梗概集，2012， 1413-1414
Issue Date	2012-09-12
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/54897
Rights	日本建築学会．本文データは学協会の許諾に基づきCiNiiから複製したものである．
Type	journal article
File Information	AIJ2012.5686.1413-1414.pdf



中国河南省における新農村建設による再編直前の農村居住の実態 —「尚庄新村」へ再編される既存農村を事例として—

正会員 ○王 穎楠*
同 野村理恵**
同 森 傑***

農村住宅 農村集落 再編
新農村建設 居住実態 中国

1. 研究の背景と目的

中国では、2005年より都市と農村の格差是正を目的とした「新農村建設」政策が展開しており、各地で大規模な農村集落の再編が起こっている。本研究では、中国河南省において再編される農村集落を対象に、住居の空間特性と居住実態を明らかにすることを目的とする。

2. 調査の概要

対象地は、中国河南省の「新農村建設」による試行村となっている「尚庄新村」である。新村は2009年に、分散している9の自然村の440世帯（人口1618人）を集めて、河南省確山県三里河郷の北側に位置する県城新区の近くの場所に建設される（図1）。

新村建設の実態は既に報告したが¹⁾、本稿では、再編直前の農村住宅の空間特性を把握する。2011年3月27日から5月9日にかけて、「尚庄新村」へ再編される予定の「李庄」および「米庄」の2村を対象に、合計72戸の住宅の空間構成と使われ方を実測した。また、実際の使われ方と生活実態を把握するため、許可の得られた26戸に対してより詳細な住宅の使われ方と住宅内部を中心とした一日の生活行為を聞き取った。

3. 再編前の農村住宅の空間構成

3-1 調査事例の空間構成要素

当該地域の農村住居を分析するに際し、中国河南省南部の伝統的な農村住居の基礎的空間構成を参照した²⁾。河南省南部の農村住宅は、「堂屋棟」、「廂房」、「入口」の3要素で構成されている。その基礎的空間構成と同様、本対象事例においても「堂屋棟」「廂房」「入口」によって構成されているが、その位置関係は必ずしも基本型と一致しない。

い。なお、「廂房」の機能のうち、家畜小屋は基礎を持たない簡易的な囲いによって設けられていることが多く、その数や位置は各住戸でばらつきが大きい。そこで、左右概念で上位に位置づけられる「厨房」を3要素の一つとする。

3-2 調査事例の空間構成分類

先に述べた3要素の宅地内部における配置を分類する。基準点を入口に設定すると、「堂屋棟」と「厨房」が入口に対して横列となるものと垂直になるものに分けられる。横列のうち「奥」と「手前」に位置するもの、縦列は「側面」とする。これを組み合わせると9つのタイプができる（図2）。このうち、調査事例は5つのタイプに分類できる（表1）。

【A-bタイプ（堂屋棟：奥／厨房：手前）】

厨房が大門と一体になった「門房型」の平面構成を李庄と米庄で1事例ずつ確認できる。堂屋棟と厨房が平行に配置され、その間が院子となる。

【A-cタイプ（堂屋棟：奥／厨房：側面）】

「堂屋棟」は対面、「厨房」は左右いずれかの側面に位置している。このタイプは22事例で、特に米庄で15事例となっている。「厨房」が「堂屋棟」からみて左側に位置しているものが18事例あり、先述した河南省南部の基本型に比較的近い。また、院子をコ字型、L字型で囲む平面構成を多く確認できる。

【C-aタイプ（堂屋棟：側面／厨房：奥）】

すべて李庄で9事例が確認できる。院子をL字型で囲む平面構成となっている。事例L31、L37は塼と門が配されていないが、院子にセメントが敷かれ境界ができています。事例L35は、竹や木の枝を編んで作った垣根で敷地を囲んでいる。

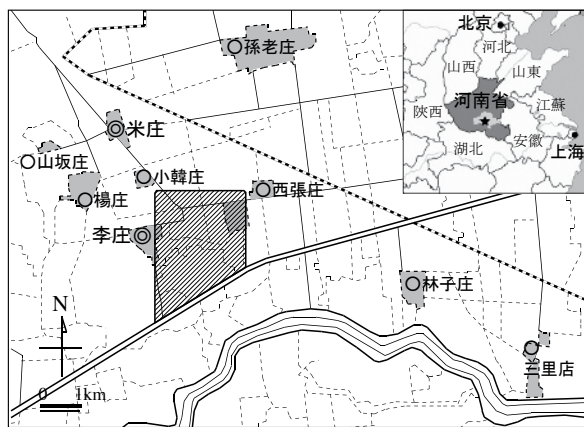


図1 「尚庄新村」の位置と新村の再編計画模式図



写真1 並んでいる住居
写真2 住居の例
2011年11月撮影

		入り口に対する堂屋棟の位置		
		Aタイプ 奥	Bタイプ 手前	Cタイプ 側面
入り口に対する厨房の位置	aタイプ 奥	該当数: 0	該当数: 0	該当数: 9 C-aタイプ
	bタイプ 手前	該当数: 2 A-bタイプ	該当数: 0	該当数: 25 C-bタイプ
	cタイプ 側面	該当数: 22 A-cタイプ	該当数: 0	該当数: 6 C-cタイプ

図2 住宅要素と配置による平面図の分類

Actual Conditions of Rural Village Living before Reorganization by the New Rural Policies in Henan Province, China: Focusing on Existing Villages Scheduled to be Reorganized to Shang Zhuang New Village

WANG Yingnan, NOMURA Rie and MORI Suguru

表1 対象とした64事例における住宅の空間構成分類

A-bタイプ	事例番号		面図表現		L 堂屋(居間)	
	LNo.	MNo.	主棟	家畜囲い	H 浴室	B 寝室
			▲ 入り口	— 垣ある	K 厨房	S 倉庫
			— 垣なし		F 階段	T 便所
A-cタイプ						
LNo.2	LNo.8	LNo.9	LNo.14	LNo.18	LNo.29	
LNo.38	MNo.4	MNo.8	MNo.9	MNo.10	MNo.11	
MNo.14	MNo.15	MNo.18	MNo.19	MNo.21	MNo.22	
MNo.23	MNo.24	MNo.25	MNo.27			
C-aタイプ						
LNo.15	LNo.23	LNo.31	LNo.43	LNo.28		
LNo.34	LNo.35	LNo.37	LNo.40			
C-bタイプ						
LNo.1	LNo.3	LNo.4	LNo.5	LNo.10		
LNo.12	LNo.13	LNo.16	LNo.7	LNo.22		
LNo.17	LNo.19	LNo.20	LNo.21	LNo.24		
LNo.30	LNo.32	MNo.1	MNo.3	MNo.2	MNo.6	
MNo.5	MNo.7	MNo.17	MNo.16	MNo.20		
C-cタイプ						
LNo.6	LNo.36	LNo.44	LNo.45	LNo.46	MNo.26	

【C-b タイプ（堂屋棟：側面／厨房：手前）】

本調査で最も多い26事例が該当する。このうち李庄が17事例と多くの割合を占める。「堂屋棟」と「厨房」の位置関係は「A-cタイプ」と類似しているが、入口は堂屋の正面を避けるため、堂屋の側面の走向に設けられる。「厨房」を大門と一体に設ける「門房型」の平面構成を多く確認でき、また院子をL字型で囲むものも多い。

【C-c タイプ（堂屋棟：側面／厨房：側面）】

李庄で5事例、米庄で1事例であるが、「堂屋棟」に「厨房」が隣接している。事例L6は、かつての厨房の位置に、寝室を新築し、堂屋の両側の寝室を厨房と倉庫へ機能変更した事例である。その他はいずれも小規模な住宅となっている。

4. 再編直前の農村住宅の居住実態

4-1 事例分析

事例1：40代の世帯主夫婦と20代の長男世帯（夫婦と5歳の次男）の二世帯5人である。宅地面積約360㎡で、空間構成はC-bタイプに当たる。世帯主夫婦と長男の息子は堂屋の左の主寝室、長男夫婦が堂屋右側の寝室に就寝し、正式な接客は主に堂屋で行う。家族の団らん、遊びは、晴れた日には院子で、雨の日には堂屋入口前方の檐廊（廊下）で行う。主寝室では就寝以外に、食事、家事作業、団らん、テレビを見るなど、非常に多目的な利用がなされている。院子は比較的に広いため、子供の遊び、接客、駐車場の場所、簡単な家事のための仕事場として大きな役割を担っている。院子の中に井戸があるため、洗濯や朝の洗顔などはその周辺で行われる。

事例2：60代の夫婦2人が宅地面積約160㎡の住宅に住む例である。住宅は集落において比較的に狭いタイプである。夫婦は堂屋の左側の寝室に就寝している。堂屋は比較的に広く、家族の団らん、接客のみならず、駐車、収納など幅広く利用されている。院子には大門が設けられておらず、竹や木の枝を編んで作った垣根だけで入口を遮る。堂屋棟の前には庇のついた檐廊が設けられておらず、近隣との会話以外にあまり利用していない。宅地の西側に荒地があるため、自分で開墾して、豚小屋と菜園として利用される。また、この集落は水不足のため、食事用と日常生活用水は周辺の集落から運び、洗濯は近くの池で行う。

5. まとめ

本研究では、中国「新農村建設」のもと大規模に再編される農村集落を対象に、再編直前の農村居住に焦点を当てて、その多様な空間構成と居住実態について調査・考察を行ってきたが、農村住居形態が多様化にしていることが明らかとなった。これらの多様な生活行為が、新村の住宅や居住環境において確保されるのか課題となる。しかしながら、集落全体の外部空間も含め、再編前後における居住実態を検討し、「新農村建設」による集落再編事業に関する総合的な知見を得ることを今後の課題とする。

参考文献

- 王穎楠、野村理恵、森傑：中国社会主义新农村建設による農村集落の再編に関する基礎的研究-中国河南省・三里河郷「尚庄新村」を事例として-、2011年度日本建築学会学術講演梗概集、E-2, pp. 27-28
- 郭瑞民：『豫南民居』、東南大学出版社、2011年2月、第一版、pp. 56-64

- * 北海道大学大学院工学院 博士後期課程
- ** 北海道大学大学院工学研究院 助教・博士（学術）
- *** 北海道大学大学院工学研究院 教授・博士（工学）

- Graduate Student, Graduate School of Eng., Hokkaido Univ.
- Assis. Prof., Faculty of Eng., Hokkaido Univ., Ph.D.
- Prof., Faculty of Eng., Hokkaido Univ., Ph.D. in Eng.